

環境アレルゲンから見たアレルギー性鼻炎と気管支喘息

～SACRA Questionnaire が教えてくれるもの～

国立国際医療研究センター病院呼吸器科

放生 雅章

我々多くのアレルギー専門医の間では「One airway, one disease」の概念と気管支喘息とアレルギー性鼻炎の緊密な関係は、すでに常識となりつつある。昨年発表された SACRA study における、その合併率は 67.3%にのぼり、鼻炎合併者で明らかに喘息コントロールが低下するとの報告は、その臨床的な重要性を再認識させるものであった。しかしながら実地臨床の場ではこの2つの疾患の併存の重要性はまだ浸透しているとは言い難いのが現実である。SACRA (Self Assessment of Allergic Rhinitis and Asthma) Questionnaire は実地臨床の場で鼻炎合併のスクリーニングを行うための簡便なツールとして、GINA および ARIA 日本委員会が開発した質問表である。我々は当院外来治療中の 420 名の喘息患者に対して SACRA のみならず、ACT・FeNO・呼吸機能検査などを実施し、その臨床的な有用性を検討した。本講演においてはその結果を報告するとともに、実際に臨床の場で使用する際の留意点などについて述べたい。